

〔科目名〕 行政経営論	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 選択科目
〔担当者〕 遠藤 哲哉 Endo Tetsuya	〔オフィス・アワー〕 時間:第1回の授業時に指示 場所:研究室	〔E-mail〕 tetsuya@b.nebuta.ac.jp
〔科目の概要〕 地域社会の諸問題を解決し、自分たちの夢や希望を実現するために、政策イノベーションとそれを担う新しいリーダーシップが求められている。公共経営を担う組織として、行政経営、NPO,NGO、非営利組織、社会的企業などが挙げられる。いずれも、硬直的な官僚主義に陥らずして、多くの人々とともにビジョンを掲げ、哲学を持ち、一人ひとりの個性を伸ばし人間的成長を促す組織の在り方と、それを支える新しいリーダーシップが期待されている。 人々の幸せと人間的成長が地域社会に生きる私たちの目指す方向とするならば、一人ひとりが自分の人生を選び取り主体的に生き抜くチャンスを拡充していくことが大切である。分権時代とは、そのような自己決定のチャンスを広げる制度とシステムが作られる時代である。そこには、自己責任と能力の向上もまた必要である。 本科目では、分権時代を確かなものとし、そこに生き、一人ひとりが個性的なリーダーとして自己の成長を遂げる道筋を、行政経営の立場から明らかにしていきたい。具体的には、行政経営の諸理論、考え方を踏まえ、行政ビジネス及び政策イノベーションの創出を実現する行政経営の在り方を論じていきたい。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 自治体経営論をさらに深める科目であるが、特に、リーダーシップ論、経営組織論、組織戦略論と関連がある。既存の行政学や行政の実務をベースに置きながらも、変革期において求められる行政組織や自治、地域づくりを担う人材像、リーダーシップ像そして新しい行政組織論の在り方に示唆的な内容とする。素材は、日米の行政学理論、組織論、リーダーシップ論、イノベーション論などを参照し、英文の資料を読みこなす予定である。硬直化しやすい官僚主義的組織体質を打破し、住民自治の下で、行政の優れたパフォーマンスを挙げていくためには、どのようなリーダーシップと組織戦略が必要となるのか、グローバルな視点から検討していく。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 最終目標 行政経営の変革に必要なリーダーシップ、組織戦略、コミュニケーション、人材育成の考え方とスキルについての知識を得、行政経営の現場に応用できる理論と実践力を身につける。 中間目標 行政経営におけるリーダーシップ、組織戦略、人材育成、イノベーションについて、グローバルな視点から理解し、その意義と役割について、理解を深める。行政経営における諸理論と職場の実態を知ることによって、具体的なスキルアップのイメージがもてる。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・学生のレベルを考え、できる限り興味をもって伝えられるよう工夫をする。 ・グローバルな社会を念頭に、英語での授業も行っているが、難しいという学生の声を受け止め学生の能力・関心を見極めて、効果的な方法を検討していきたい。 ・授業の全体について、学生の理解とモチベーションを促進する工夫をさらに行ってきたい。		
〔教科書〕 オリジナルの資料を使用。(授業中に指示します。) なお、指定図書も使うので、準備して下さい。		
〔指定図書〕 遠藤哲哉『「地域経営」における価値創造:新しい自治体経営を志向して』現代図書		

〔参考書〕

授業中に提示しますが関連する文献をいくつか提示しておきます。

John M. Bryson, Barbara C. Crosby and Laura Bloomberg (2014), ‘Public Value Governance: Moving beyond Traditional Public Administration and the New Public Management,’ Public Administration Review, July /August.

野中郁次郎他『ソーシャル・イノベーション』千倉書房

高野誠鮮『ローマ法王に米を食べさせた男』講談社

山内道雄『離島発 生き残るための10の戦略』NHK出版

楠木建『ストーリーとしての競争戦略』東洋経済新報社

クレイトン・クリステンセン『イノベーションのDNA』翔泳社

ダニエル・ピンク『モチベーション3.0』講談社

西口敏宏『遠距離交際と近所づきあい〜成功する組織ネットワーク戦略』NTT出版

金井壽宏他『組織行動の考え方』東洋経済新報社

ウェンガー『コミュニティオブプラクティス』翔泳社

宮川公男他『ソーシャル・キャピタル』東洋経済新報社

R. パットナム『哲学する民主主義』NTT出版

ウェイン・ベーカー『ソーシャル・キャピタル』ダイヤモンド社

稲継裕昭他『行政ビジネス』東洋経済新報社

その他、沢山の参考書を紹介するので、この機会に読破して欲しい。

〔前提科目〕

自治体経営論を履修していることが望ましい。

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

- ・ 期末試験、授業レポート、小テスト、授業中の参加態度、意見等を総合的に見ます。

〔評価の基準及びスケール〕

- ・ 授業小感想シート、中間・期末試験及び授業への参加度等、全体を通して評価します。

A: 100～80 点

B: 79～70 点

C: 69～60 点

D: 59～50 点

F: 49 点～

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

自治体経営論をさらに深める内容で、新しいリーダーシップの在り方、経営戦略、地域イノベーション等について検討する。グローバルな視点から、これからの公共経営領域に必要となるリーダーシップ、経営戦略、人材育成等について検討を加える。このような領域に関心があり、かつ意欲のある学生の参加を歓迎する。なお、英文の資料・テキストを多く参照するので、この授業を通して、英語に習熟して欲しい。

〔実務経歴〕

自治体での実務経験を活かし、行政経営の諸理論、考え方を踏まえ、行政ビジネス及び政策イノベーションの創出を実現する行政経営の在り方を論じる授業です。

授 業 ス ケ ジ ュ ー ル

第1回	テーマ(何を学ぶか):オリエンテーション～行政経営論の射程 内 容: 科目の概要、行政経営に関するオリエンテーション 教科書・指定図書 資料配布
第2回	テーマ(何を学ぶか): 行政経営論 内 容: 行政経営の実践と理論 (1) 教科書・指定図書 資料配布

第3回	テーマ(何を学ぶか): 行政経営論 内 容: 行政経営の実践と理論(2) 教科書・指定図書 資料配布
第4回	テーマ(何を学ぶか): 行政経営論 内 容: 行政経営の実践と理論(3) 教科書・指定図書 資料配布
第5回	テーマ(何を学ぶか): 行政経営論 内 容: 行政経営の実践と理論(4) 教科書・指定図書 資料配布
第6回	テーマ(何を学ぶか): 行政経営論 内 容: 行政経営の実践と理論(5) 教科書・指定図書 資料配布
第7回	中間テスト 内 容: 教科書・指定図書 資料配布
第8回	テーマ(何を学ぶか): 行政評価と経営 内容: NPMとKBGについて 教科書・指定図書 資料配布
第9回	テーマ(何を学ぶか): ソーシャル・イノベーションと経営 内 容: ソーシャル・イノベーションを起す 教科書・指定図書 資料配布
第10回	テーマ(何を学ぶか): 行政経営における経営戦略論(1) 内 容: 優れた経営実践と理論的課題(1) 教科書・指定図書 資料配布
第11回	テーマ(何を学ぶか): 行政経営における経営戦略論(2) 内 容: 優れた経営実践と理論的課題(2) 教科書・指定図書 資料配布
第12回	テーマ(何を学ぶか): 行政経営における経営戦略論(3) 内 容: 優れた経営実践と理論的課題(3) 教科書・指定図書 資料配布
第13回	テーマ(何を学ぶか): 諸外国における行政経営(1) 内 容: 国際比較検討(1) 教科書・指定図書 資料配布
第14回	テーマ(何を学ぶか): 諸外国における行政経営(2) 内 容: 国際比較検討(2) 教科書・指定図書 資料配布
第15回	テーマ(何を学ぶか): まとめ～ 新しい公共の担い手の再編と連携 内 容: 総まとめ 教科書・指定図書 資料配布
定期試験	期末テスト